

写真展

季節の神々

― 西谷先生が訪ねた兵庫の民俗 ―



カリゴメ：稲刈りの終わりに恵方を拝む
三木市吉川町田谷 昭和30（1955）年



虫送り（サネセリ）人形 多可郡多可町
昭和三十五（一九六〇）年

期間：令和七年六月九日（月）～八月二十九日（金）

土・日・祝日、八月十二日（火）～十五日（金）休室

時間：午前十時～午後五時

場所：神戸女子大学古典芸能研究センター展示室

（神戸市中央区中山手通2丁目23-1 神戸女子大学教育センター2階）



新仏の精霊送り 高砂市米田 昭和42（1967）年

兵庫県には庶民の生活に根ざした数多くの民俗が伝承されてきました。高校教師だった西谷勝也氏（一九〇六～一九六九）は、勤務のかたわら兵庫県の各地の伝承行事や民俗資料を訪ね歩き、多くの論考を執筆しました。その集大成が柳田国男賞を受賞した著書『季節の神々』（一九六八）です。

古典芸能研究センターでは、西谷氏が収集した膨大な調査資料の整理を進めていましたが、このたびようやく「西谷勝也民俗調査資料」として迎えることになりました。このコレクションは、すでにデータベース化されている「喜多文庫民俗芸能資料」と統合、更に発展させた「神戸女子大学古典芸能研究センター所蔵民俗芸能・民俗資料データベース」で公開します。

これを記念して、西谷氏の主著『季節の神々』の論拠に挙げられた写真を中心に、兵庫県各地の四季折々の行事や風物の写真を展示します。豊かで多彩な兵庫五国、昭和三十年代から四十年代はじめ頃の景観をお楽しみください。

（※本展示は、二〇二五年三月一日から十二日まで、神戸市立須磨離宮公園で開催した同タイトルの展示を再構成しています。）

神戸女子大学古典芸能研究センター

TEL：078-231-1061

<https://www.yg.kobe-wu.ac.jp/geinou/>

